東京ビル政連

東京ビルメンテナンス政治連盟
発行責任者　梶山龍誠
〒116-0013
東京都荒川区西日暮里5-12-5
ビルメンテナンス会館
TEL 03-3805-2950
FAX 03-3805-7550

年頭所感

品質確保と健全な成長のため 業界の更なる発展を目指します！

東京ビルメンテナンス政治連盟
理事長　梶山　龍誠

新年明けましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の収束には至りませんでしたが、政府による行動制限もなくなり、アフターコロナに向けて着実に経済が動き始めております。

昨年は参議院議員選挙が実施され、皆様のご支援・ご協力により当政連の重点支援者である東京選挙区の議員が当選を果たすことができました。全国比例では惜しくも当選を逃しましたが皆様のご協力に深く感謝いたします。今年は予定された選挙はございませんが、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、当政連では都や国に対し、業界全体の品質の確保とそれに伴う予算の計上を行うことで、適正な利潤を確保できるよう要望活動を進めております。その成果として、平成27年度に「ビルメンテナンス業務にかかる発注関係事務の運用に関するガイドライン」が定められ、品質確保のため、維持管理の担い手の中長期的な育成について明記されました。その後も、令和2年度に改正され、定期的に各地方公共団体等に周知されてきました。

また、昨年11月30日付で厚生労働省及び総務省から各省庁や地方自治体の契約部署に対し、「ビルメンテナンス業務に関する契約（公共調達）の最低賃金引上げ、エネルギー価格・物価高騰等に伴う契約金額の変更について（緊急依頼）」という文書が発出されました。本通知では、今般の最低賃金の引上げや物価上昇等を受け、ガイドラインを踏まえ、適切な価格で単価を見直して契約金額を変更することを検討するよう要請されています。

当政連といたしましては、本通知の発出で終わることなく、引き続き業界団体として要望活動を進めてまいりますが、官公庁物件の受託をされている各社様におかれましては、個別に契約金額の変更が行われるよう契約先にご相談いただき、業界全体の適正利潤の確保による品質確保にご協力いただければ幸いでございます。

今後も支援しております議員の先生方を通じ、適正入札だけでなく、各種交付金や支援等、業界全体に関わる要望活動等を行ってまいります。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご繁栄、ご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和五年 新年賀詞交歓会

東京ビルメンテナンス協会（佐々木浩二会長）主催、東京ビルメンテナンス政治連盟協賛による「令和5年新年賀詞交歓会」が1月16日、ハイアットリージェンシー東京（新宿区西新宿）の大宴会場「センチュリールーム」で開催された。令和4年はコロナ禍によりソフトドリンクの提供とお土産といった形での開催であったが、今年はマスク着用、座席は7名の指定制ではあったものの、フレンチのフルコースを楽しみながらの開催となった。

佐々木浩二会長

全国ビルメンテナンス協会　一戸隆男会長

宇田川聡史都議会議員

生稲晃子参議院議員

鏡開きの様子

岡本三成衆議院議員

髙島直樹都議会議員

山﨑一輝都議会議員

小宮あんり都議会議員

来賓を含む193名を迎えた佐々木会長は、年頭の挨拶に立つと「明けましておめでとうございます。やっとこのように対面で皆様と顔を合わせることができました。これからウィズコロナということで、こういう機会も増えていくのかと思いますが、現在の感染状況も決して良いとは言えません。守るべきことはしっかり守り、今年また一年、皆様と共に頑張って行きたいと思います」と述べた後、ロシアのウクライナ侵攻について触れ、「日本も大変な影響を受けて原材料など物価が高騰しておりますが、我々ビルメン業は業務をしっかりやった上で、やはりきちんと収益を上げていかなければならないと考えております」と決意を述べた。また、「昨年は協会の創立60周年という節目の年で、感染拡大防止に配慮をしつつも記念式典、優良従業員表彰式、祝賀会を開催。さらに4年ぶりとなったビルメンテナンスフェア、労働安全衛生大会も実施することができましたし、公益事業の柱である講習会、セミナーにつきましても概ね開講することができました。今年も配慮をしながら事業を進めて参りたいと思いますが、会員の皆様のご協力があって初めてなし得ることです。よろしくお願い申し上げます」と今年の事業推進について理解と協力を求めた。最後に「当業界は、本日ご臨席いただいております国会議員、都議会議員の先生方のご尽力、全国協会、政治連盟の働きかけがあって、エッセンシャルワーカーとして公に認知されました。様々な活動が実を結んできていると実感しております。こうした中、協会ホームページを刷新し、ECサイト『東京マナビル』を立ち上げました。今年協会創立61年目を迎え、新たにスタートをする気持ちで、ビルメン業の社会的使命を果たしつつ、サービス、品質の向上に一層努めて参る決意でございます」と締めくくった。

来賓の祝辞は、全国ビルメンテナンス協会の一戸隆男会長が登壇し、年頭の挨拶の後、「日本国内に於いても様々なイベント、式典などが再び開催されるようになりました。現時点では感染者数増加の懸念もございますが、1日でも早く収束することを心から願うばかりでございます。一方国際政治の場面ではウクライナでの戦闘は今も続き、近隣地域も含め緊張が高まっております。経済に於いても様々な分野で物価が高騰し、人々の暮らしは決して穏やかだとは言えません。さらに我々ビルメン業にとってもこの3年間、コロナ禍によって大きな打撃を受けました。社会の変化によって大きな岐路に立たされております。こうした中で、新しいアイデア、創意工夫を凝らし、変化に積極的にトライする企業もたくさんい